

第3学年外国語（英語）科 学習指導案

指導者 ** **
AET ** **

1 「外国語（英語）科」における「話すこと〔発表〕」の目標

社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

2 単元名 Unit 3 Animals on the Red List (NEW HORIZON English Course 3)

3 単元の目標と評価規準

(1) 目標

持続可能な開発目標の1つである環境保全について伝えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章の概要を捉え、その現状や自分の考えについて簡単な語句や文を用いて発表することができる。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・〈It is…for+人など+to〉の文、〈want+人など+to〉、〈let[help]+人など+動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ・〈It is…for 人など+to〉の文、〈want+人など+to〉、〈let[help]+人など+動詞の原形〉を用いた文の理解をもとに、現状や自分の考えについて話す技能を身に付けている。	・持続可能な開発目標の1つである環境保全について伝えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章の概要を捉え、その現状や自分の考えについて簡単な語句や文を用いて発表している。	・持続可能な開発目標の1つである環境保全について伝えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章の概要を捉え、その現状や自分の考えについて簡単な語句や文を用いて発表しようとしている。

4 指導と評価の計画

(1) 指導上の留意点

ア 教材観

本単元は、世界の絶滅のおそれのある動物について知ることを通して、日本や世界の環境問題について考えることができる内容である。動物たちの現状やその背景について理解するだけではなく、自分たちにできることはないか考えることができる教材である。

また、It is … for +人など+to、want+人など+to、let[help]+人など+動詞の原形が扱われており、自分の意見を述べたり、相手にしてほしいことなどについて伝えたりする言語活動を展開することができる。

イ 生徒の実態（在籍*名）

本学級の生徒は、英語学習に意欲的に取り組む生徒が多い。特にペアでの会話活動や、ICTを用いた復習に積極的に取り組んでいる。普段行っているスモールトークでは、一問一答にならないように意識することができており、質問に対してプラスワン以上で答えることやさらに質問するなど、会話を継続しようとして意識できていることが分かった。一方で、プレゼンテーション活動については、楽しいと感じている生徒が少なく、抵抗感をもっている生徒もいる。生徒が意欲的に取り組む会話活動やICTを使った活動を取り入れ、ゴールの発表に向けて段階的に指導していくことで、生徒が自信をもって活動できるようにしていきたい。また、今回の単元で扱う絶滅危惧種について知っている生徒が少ないため、単元を通して学ぶ中で、生徒が他教科等においても学習しているSDGsを取り上げることで、持続可能な社会を実現するという観点から、絶滅危惧種についても自分の考えを持てるようにしていきたい。

1 特に楽しいと感じる活動(複数回答)

- ア 会話活動 *名 イ ICTを使った活動 *名 ウ 音読活動 *名
エ リテリング *名 オ リーディング *名 カ ライティング *名
キ プレゼンテーション *名

2 会話活動において、プラスワン以上で話すことができる

できる *名 できない *名

3 会話活動で相手が話した内容について、さらに質問することができる

できる *名 できない *名

4 次の日本語を英語にきなさい。「英語を話すことは簡単です。」

① To speak English is easy. 正答 *名

② Speaking English is easy. 正答 *名

③ It is easy to speak English. 正答 *名

5 次の()に当てはまる正しい語を1つ選び、記号で答えなさい

Ken is my brother. I went to AEON and bought a present for ().

ア he イ his ウ him 正答 *名

6 世界の絶滅危惧種について

ア よく知っている *名 イ 少し知っている *名

ウ あまり知らない *名 エ 全然知らない *名

7 SDGs17の目標について

ア よく知っている *名 イ 少し知っている *名

ウ あまり知らない *名 エ 全然知らない *名

8 英語の授業は楽しいですか

ア 楽しい *名 イ どちらかという楽しい *名

ウ どちらかという楽しくない *名 エ 楽しくない *名

ウ 指導観

終末に、環境保全についてプレゼンテーションを行う活動を設定した。絶滅危惧種についての理解を通して、持続可能な社会について思考し、自分たちにできることについて考えたり、意見を述べたりできるようにしていきたい。

本時の授業においては、普段の授業で帯活動として実施しているスモールトーク及びKahoot!を用いた活動を行うことで、文法の導入に必要な既習事項の復習を行う。2年生で学習した不定詞や動名詞を主語として使う文法については、約*程度の生徒がまだ身に付いていないことが実態調査から分かったため、スモールトークで不定詞の名詞的用法を用いた会話活動を行い、既習事項を想起させたい。

本単元の最終目標は、社会的な話題について発表することであるが、本時の文法の導入に関しては身近な話題や自分のことを表現するやり取りの活動から始めることで生徒が話しやすいと感じるように工夫する。文法の導入においては、生徒が表現する活動を多く取り入れることで、生徒が文法構造に気付き、中間指導によって文法についての理解を深めるよう留意し、帰納的な文法指導を展開していきたい。

(2) 単元のまとめを見通した計画 (○: 評定に用いる評価 ●: 学習改善につなげる評価)

時間	ねらい (■)、言語活動等 (丸数字)、評価の方法 (※)	知	思	態	備考
1	■ 単元の最後に行うプレゼンテーションについて見通しをもつことができる。 ①本単元の目標を理解する。 ②SDGs17の目標について理解する。 ③絶滅危惧種の現状について理解する。 ④SDGs17の目標達成のためにできることについて、アイデアをメモする。 ※観察、ワークシート				
2	■ 持続可能な世界の実現のために大切なことについて、自分の考えを伝え合うことができる。 ①Kahoot!で既習事項を復習する。 ②Small Talkを行う。	●			

	③身近なことについて、会話をする。 ④本時のゴールを知り、流れを確認する。 ⑤SDGs 17 のゴール達成のために大切なことや自分たちにできることについて伝え合う。 ⑥It is...for+人など+to の構造と意味を理解する。 ※観察			
3	■「私たちのSDGs リスト」を作るために、持続可能な世界の実現のために大切なことについて自分の考えを伝え合うことができる。 ①SDGs 17 のゴール達成のために大切なことや自分たちにできることについて伝え合う。 ②グループで「私たちのSDGs リスト」をジャムボードにまとめる。 ※観察、ジャムボード	●		
4	■気候変動や人間による環境破壊についての文を読んで概要を捉え、英文を引用して自分の考えを述べることができる。 ①教科書本文を読んで、概要をつかむ。 ②リテリングをする。 ③本文の内容を引用し、自分の考えを加えて発表する。 ※ワークシート、観察			
5	■人にしてほしいことについて説明することができる。 ①友達や家族にしてほしいことについて頼む会話をする。 ②want+人など+動詞の原形の構造と意味を理解する。 ※ワークシート、観察	●		
6	■レッドリストについての文を聞いて概要を捉え、英文を引用して自分の考えを述べることができる。 ①教科書本文を読んで、概要をつかむ。 ②リテリングをする。 ③本文の内容を引用し、自分の考えを加えて発表する。 ※ワークシート、観察			
7	■SDGs 17 のゴール達成と絶滅危惧種を助けるためにできることについて自分の考えを述べることができる。 ①自分たちにできることについて考え、グループ内で提案し合う。 ②let[help]+人など+動詞の原形の構造と意味を理解する。 ※ワークシート、観察	●		
8 9	■トキとゴリラの現状についての文を読んで概要を捉え、英文を引用して自分の考えを述べることができる。 ①教科書本文を読んで、概要をつかむ。 ②リテリングをする。 ③本文の内容を引用し、自分の考えを加えて発表する。 ※ワークシート、観察			
10	■絶滅危惧種の現状と環境保全のためにできることについて、プレゼンテーションを作ることができる。 ①情報をまとめ、プレゼンテーションの構成を考える。 ②ペアでプレゼンテーションを行い、タブレット端末に録画する。 ※動画・観察		●	●
11	■プレゼンテーションを見合ってお互いにアドバイスをし合い、自分のプレゼンテーションを改良することができる。 ①前時に撮ったプレゼンテーションを見せ合い、お互いにアドバイスをする。 ②プレゼンテーションを改良したり練習したりする。 ③グループでプレゼンテーションを行い、タブレット端末に録画し、ロイロノートで提出する。 ※動画・観察	○	○	○
12	■単元全体を振り返り、自分ができるようになったことを実感し、これからの英語学習への意欲をもつことができる。			

①ロイロノートの共有機能を使って、自分や友達のプレゼンテーションを視聴する。				
②できるようになったことや単元をとおして学んだことなどを振り返り、これからの目標を振り返りシートに記入する。				

5 本時の指導

(1) 目標

持続可能な世界の実現のために大切なことについて、自分の考えを伝え合うことができる。

(2) 準備

生徒用タブレット端末、電子黒板、* 中学校英語科ホームページ、ワークシート

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点（・）評価（◎）	
	JTE	AET
1 あいさつをする。	・簡単なやり取りを交えながら、生徒がリラックスして学習に取り組めるようにする。	
2 Kahoot! で既習事項の確認をする。	・間違いの多い問題がある場合には、その都度説明をする。	
3 Small Talk を行う。 “Free Time” (1) Teachers' Talk を行う。 A: What do you like to do in your free time? B: I like to read books. Reading books is interesting. A: Do you read books in English? B: Yes. Reading books in Japanese is difficult for me. A: I see. I can understand. There are many Chinese characters. Sometimes I have some Chinese characters that I can't read.	・QAAB つっこみ RCQ (Question, Answer, Answer, Because, つっこみ, Reaction, Comment, Question) を意識し、会話が続くように助言する。 ・中間指導では、生徒からの質問について全体で考え、共有する。 ・生徒の会話を聞き、生徒からの質問がない場合には、生徒が使えるような表現を取り上げて共有する。	
(2) ペアで2回繰り返す。		
4 伝言ゲームを行う。 (1) モデル対話を聞く。 (2) ペアで会話する。 (3) パートナーを変えて、情報を伝える。	・電子黒板にキーワードを提示し、生徒が既習事項を使って会話できるようにする。 ・中間指導では、生徒からの質問について全体で考え、共有する。 ・既習事項の中でどの表現を用いているか、できていない表現があるか観察し、様々な言い方を取り上げて、生徒に示す。 ・SDGs ゴール達成のため	
5 本時の課題を確認する。	・生徒の会話に入っていく、スムーズに話ができるように、簡単な質問をしたり、paraphrase や recast でヒントを与えたりしながら、生徒が発言できるようにする。 ・生徒の会話に入っていく、スムーズに話ができるように、簡単な質問をしたり、paraphrase や recast でヒントを与えたりしながら、生徒が発言できるようにする。 ・中間指導の際には、生徒の言いたい表現と一緒に考え、助言する。	

持続可能な世界の実現のために大切なことについて、自分の考えを伝え合うことができる。	に、学校や家庭での生活で大切なことについて考えるよう助言する。	
6 話し合い活動を行う。 (1) アイディアを考える。 (2) ペアで意見交換する。 (3) ペアを変えて、3回繰り返す。		・モデルを示し、生徒が意見を言う際の参考となるようにする。 ・中間指導の際には、生徒の
A: What can we do to achieve the goals? B: To achieve the goal 13, I think we should turn off the lights. It is important to save power. A: That's a good idea. I sometimes forget to turn off the lights. I think that it is a good idea to use electric cars.	・正確な文法で話しているかを観察し、必要に応じて中間指導を行う。 ・うまく表現できない生徒には、使える表現をまとめたヒントカードを渡して、支援する。 ◎持続可能な世界の実現のために大切なことについて、自分の考えを伝え合うことができたか。(知識・技能)【観察】	
(4) 全体で共有する。 7 文法の確認をする。 (1) ターゲットの文法を使った例文を見て、意味を確認する。 (2) 活動で使った表現の文法がどのような意味や形であるかについて確認する。 8 ノートにまとめる。 9 振り返りを行う。	・電子黒板に3文表示し、共通点について考えさせることで、生徒が文の仕組みに気付くようにする。 ・板書し、ポイントを確認する。	・キーセンテンススライドを用いて、生徒が文法の意味や形を確認できるようにする。
	・机間指導の中で生徒の振り返りを見取りながら前向きな声かけをして次時への意欲につなげられるようにする。	